

呉の歴史 —明治以前の社会—

History of Kure in pre-modern society



会期：令和4(2022)年7月7日(木)～令和5(2023)年1月16日(月)

場所：大和ミュージアム 2階 特別展示ギャラリー

July.7th,2022 - January, 16th, 2023 / 2nd Floor Gallery

呉は瀬戸内海のほぼ中央部、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面する沿岸部と島嶼部で構成されています。「呉」という名称は、12世紀頃には瀬戸内沿岸部のことを指しました。江戸期になると、安芸郡宮原村のなかに町が形成され「呉町」と呼ばれるようになりました。「呉町」は明治19(1886)年の鎮守府建設の決定により、海軍用地として買収され、「呉」は鎮守府の名称となりました。

明治35(1902)年に宮原村・荘山田村・和庄町・二川町地域が合併して、呉市が誕生しました。昭和3(1928)年には警固屋町・吉浦町・阿賀町を、同16(1941)年には仁方町・広村を編入。昭和31(1956)年に天応町・昭和村・郷原村を、平成15(2003)年には下蒲刈町、翌年に川尻町、翌々年に音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町を編入して、瀬戸内海の島嶼部を含む人口約25万人規模の中核市となりました。

呉市は今年、市制120周年を迎えます。

今回のミニ企画展では、明治以前の社会に注目し、入船山記念館所蔵の資料を中心に紹介します。

【主な展示資料】

1. 「安芸郡図」
“Old Map of Aki area”
2. 「賀茂郡図」
“Old Map of Kamo area”
3. 「芸備浦島図」
“Old Map of Seashore and Iles in Geibi area”
4. 「先觸(伊能勘解由浦島測量)」
“An Official Notice about Ino surveying project”
5. 「浦島測量図」
“Surveying Map in Seashore and Iles”
6. 「御手洗測量図」(複製)
“Surveying Map in Mitarai” (duplicate item)
7. 掛軸: 小林月峰「二河瀧図」
Hanging Scroll: KOBAYASHI Geppo “Niko Fall”

1……………澤原家近世・近代資料 呉市文化スポーツ部文化振興課

2・4・7……呉市入船山記念館蔵

3・5………寄託資料(宮尾家文書) 呉市指定文化財 7月7日~8月28日は現物展示

6……………呉市文化スポーツ部文化振興課 呉市指定文化財